

おいしいお菓子を作るぞ!!



11月18日
お菓子作りボランティア
(金木高校調理室)

たちができること

心をこめて作りました。おいしくできたと思いますので、あったかいうちに召し上がってください。

◀金木高校二年 桜庭 梨菜さん（喜良市）



▶金木高校二年 竹内菜津美さん（藤枝）

一生懸命作りました。中学生のみなさんが協力してくれて、とても上手にできました。

「地域のために協力して活動しよう」と今年度から町内の小、中、高校の児童、生徒が一緒になって様々なボランティア活動をしています。

ボランティア活動を通して思いやりの気持ちを養ってもらおうと金木高校を中心に各校が連携を図り、これまで通学路の清掃活動、福祉施設での奉仕活動などを行ってきました。

この活動の一つとして、このほど手作りお菓子のプレゼントと年賀状作成が行われました。

あったかい スイート ポテト

金木高校の調理室で十一月十八日、福祉施設のお年寄りや体の不自由な方たちにプレゼントする「お菓子作り」が行われました。

お菓子作りに参加したのは金木中、金木南中、金木高の家庭クラブやJRC部員、ボ

中・高生のがんばる姿

さあおいしい
スイートポテトを
作るぞ！



あつあつのさつまいもをすりつぶす



材料をまぜまぜ



鉄板に流して



表面に卵黄をぬりオープンハ

小・中・高生ボランティア活動

地域のために、私



ボランティアなど五十三人。金木高生が学校農園で栽培・収穫したさつまいもを使い、柔らかくてお年寄りにも食べやすいスイートポテトに挑戦しました。八つのグループに分かれ、高校生が中学生に作り方を教えながら調理を開始。生徒たちは協力して、ゆで上がったさつまいもをすりつぶしたり材料を混ぜ合わせ、愛情いっぱいのおやつを作りました。

また、スイートポテトが焼き上がるまでの時間を利用して参加した生徒全員がカードに「みんなで協力して作りました」「のどにしまらせないよに気をつけて食べてください」と心のこもったメッセージを記入。完成した三百二十



個のスイートポテトをきれいにラッピングし、メッセージカードを添えました。

この後、各学校の代表者が「あしの園」「大東ヶ丘サントピアホーム」「サンライフ金木」を訪問し、入所者一人ひとりに出来たてのスイートポテトを手渡しました。

あしの園のお年寄りたちは生徒たちから受け取ったプレゼントを早速ほお張り「おいしいお菓子をありがとう」「あたたかくてとてもおいしいです」と喜んでいました。



嘉瀬小学校では十二月十八日、四・五年生合わせて五十九人が嘉瀬地区に住むお年寄りへの年賀状を書きました。

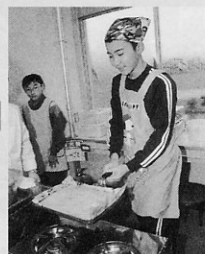
一人一枚ずつ割り当てられ、ボールペンや蛍光ペンを使いかわいらしいキャラクターや来年の干支「へび」のイラストなどを描き、「風邪をひかないように気をつけて」「いつもでも元気で長生きしてください」とメッセージを添えて、思い思いの年賀状を作成しました。

年賀状 はじまる

独り暮らしのお年寄りへ送る年賀状の作成が、このほど各小、中、高校で行われました。



焼き上がるまでメッセージカード作り



きれいに焼けたぞ



慎重に人数分に切り分け



1こずつ袋に入れてできあがり

完成

大佐賀 幸雄さん(川倉) 県褒賞(勤労)受賞

彫刻業での功勞により大佐賀幸雄さん(川倉)が平成十二年度県褒賞受賞者に選ばれました。

昭和二十三年に彫刻業の道へ進んで以来、多年にわたり仏像等の彫刻業に従事して技能の向上に励み、後進の育成に努めたことなどが認められての受賞。十一月二十七日に青森市で褒賞式が行われ、木

村知事から褒状と銀杯が授与されました。

大佐賀さんは平成八年度の県卓越技能者にも選ばれており、一塊の木材から彫り出す丸彫りの技と製作の全工程を手がける技術は各界随一といわれています。現在も仕事の依頼が後をたたず、休みはほとんど無いとのこと。それでも「仕事というより趣味で

やっていますから」と語る大佐賀さん。「直接木村知事から受賞決定の電話があり驚きました。今後も、一つひとつ気持ちを含めて良いものを作り続けたい」と話していました。



▲大佐賀さんの最近の作品。高楯山妙龍寺(飯詰)の門を飾る龍の彫刻

99歳まだまだ元気です 白寿おめでとう 山中 ヤサさん(嘉瀬)



掛け、顕彰状と祝い金を手渡しました。

ヤサさんは現在、孫の光さんと二人暮らし。趣味は裁縫で、ひ孫の沙絢ちゃんの人形の着物を縫ってあげたりしているそうです。また、ほとんど病気がなかったこともなく、今年二月の町議会選挙にも投票所に向いて一票を投じました。ヤサさんの元氣ぶりに家族の方たちも「おばあちゃんには私たちより記憶力が良くて、新聞を読んで教えてくれたりするんですよ」と話していました。

後日、山中さんはお世話になってる嘉瀬老人クラブへ、活動に役立ててほしいと祝い金の一部を寄付しました。

十一月十一日に九十九回目の誕生日を迎えた山中ヤサさん(嘉瀬新堤町)に、町から白寿の顕彰状と祝い金(九十九万円)が贈られました。町では、白寿に達した長寿者を褒賞し、家族の労をねぎらい、町民の敬老精神を高めてもらうと平成二年に白寿祝金支給条例を制定。山中さんは、今年二月に白寿を迎えた小山内晴夫さんに続く五人目となりました。十三日、自宅で行われた伝達式では鳴海町長が「山中さんは他人の悪口を言わない優しい心を持った人。それが長生きの秘けつなのでしよう。これからも健康で長生きしてください」とお祝いの言葉を

故郷の話題に花が咲く

ふるさとかなぎ会定期総会

去る十月二十一日、東京銀座のビアレストラ「ライオン」において、関東圏在住の金木町出身者の集まりである「ふるさとかなぎ会」の定期総会・懇親会が開催されました。

総会には今年もご多忙の中、ベトナム出張の帰途立ち寄っていた鳴海町長はじめ、東京青森県人会、五所川原会、青商同窓会等々在京の県人会の役員の方々と、津島厚生大臣秘書の齊藤氏他のご出席をいただき、会員五十余名の出席の下に開催されました。

鳴海町長からは、ベトナム視察の感想のほか、金木町が財政事情が厳しい中でも着実

に社会基盤整備に取り組んでいる旨の紹介があり、町役場から贈られた金木町紹介のビデオ映像には、皆さん食い入るように見つめるなど、しばし若かりしころに返ってふるさとをしのいでいました。

総会では、十一年度の事業の報告・承認、十二年度の活動計画・予算の決定、会則の一部改正等を確認した後、発足以来六年間にわたり会長を務めてきた津島義雄氏が退任後任に工藤源次郎氏を会長とする新役員を選出して成功裡に終了しました。

総会に引き続いて開催された懇親会では、会場となった「ライオン」自慢のローストビーフを肴に、出席者最高齢の成田善美氏（八十歳、藤枝出身）の津軽民謡で幕を開け、銀座の真ん中には似合わない（？）唄が続出、懐かしく楽しいひとときを過ごしました。

しんがりには、現在売り出し中の演歌歌手田中憲伸氏（千葉県松戸市在住、金木出身）が宗五郎ロックを披露。持ち込

んだCDはあつという間に売り切れと相成りました。今後もどんどん売れるといいですね。金木の皆さん！ご支援よろしくお願ひします。

【選出された新役員】

◆ 会長

工藤 源次郎（藤枝）

◆ 副会長

加藤 一治（蒔田）

杉山 利雄（中柏木）

荒井 隆（川倉）

田中 憲伸（南新町）

今 修治（喜良市）

◆ 監事

山岸 平昌（南新町）

藤山 友之（嘉瀬）

◆ 専務理事

松尾 修治（若松町）

◆ 副専務理事

中谷 勲（川倉）

◆ 理事

沢田 一茂（新富町）

越野 カネ（川端町）

杉村 久子（小川町）

中村 正春（芦野）

藤井 忠（南新町）

小野 勇（川倉）

仙場 章吾（若松町）

三上 照雄（嘉瀬）

大橋 良一（喜良市）

吉崎 治（嘉瀬）

善意をありがとう



▶金木ライオンズクラブと喜良市老人クラブの方々

喜良市老人憩いの家に十一月二十一日、金木ライオンズクラブ（会長 山中石太郎）から二十九型BS内臓テレビ（テレビ台付き）が寄贈されました。

これは、第十一回金木ライオンズクラブチャリティイベントの収益金によるもので、施設利用者の研修や娯楽等に役立ててもらおうと贈られました。早速大広間に設置され、喜良市老人クラブの方々に喜ばれていました。



▲出来たばかりの花田文庫の前で児童に囲まれる小杉さん

た小杉さんの母（故花田キクエ氏）が嘉瀬出身で、また昭和十七年から二十一年までの四年五か月間、教員として同校に在職していたことから、花田キクエ文庫として図書の寄贈を申し出たものです。

小杉さんは「図書の寄贈は以前から考えていました。偶然新聞の広告で今年が子ども読書年であることを知り、ゆかりのある嘉瀬の子どもたちにも一冊の感動的な本に出会ってほしいと思い寄贈しました」と話していました。

嘉瀬小学校に十二月二日、小杉とき子さん（千葉市在住）から児童図書約百二十冊が寄贈されました。これは、十年前に亡くなっ